

保護者説明・報告会（久世地域の園整備について）
会議録（令和5年3月1日 久世公民館大ホール）
【出席者 保護者：24名 傍聴者：10名 事務局：2名】

1 開 会

2 私立の新設認定こども園の設置場所について（報告）

事務局より報告

3 久世地域の園整備について（案）

事務局より説明

4 意見交換（テーマ：久世地域の園整備について）

保護者）

新しい私立のこども園がプールの跡地にできると聞いているが、今まで久世保育園でプールを利用していたが、もう利用できなくなるということか。

新しい私立のこども園にはプールがあるのか。水の事故が多いので、小さい頃から慣れさせておくことは大事なことだと思い質問した。

事務局）

事業者からは、プールの施設は予定しているとは聞いていない。今のところ、以前あったプールをどこかに作るということは聞いていない。参考だが、現在、北町公園の再整備の構想について協議がされている。プールの有無について話がどうなるかは不明だが、そういったことが協議される場となっている。

保護者）

前回（昨年10月）の保護者説明会で出た意見が、今回の案では全て否定されている印象。例えば、今回、R6年度から久世保育園は在園児を含めて全て受け入れ停止とあるが、前回の説明会ではそのようなことはないとはっきり言われていた。その後、考えが変わったのなら、今回までに保育園を通してでも保護者に伝えるべきではなかったか。

事務局）

前回の説明会では、久世保育園をそのまま残してほしいというような強い思いを聞かせていただいた。前回の説明会では久世保育園をどうしていくのかは、その段階では決めていなかったもので、R6年度の受入については話すことはできなかった。今回この場で初めて伝えることになる。

前回の説明会で今の場所にそのまま残してほしいという声があったが、新しい私立園と久世保育園があつた場所に両立するのは、集中しすぎて混乱するため、現実的ではないと考える。そういったことから今回は、皆さんの思いとは違った形になっているが、市としての方向性を示している。

保護者)

定員からあふれた人は、住んでいる地域に限らず、定員割れしている園に半強制的に振り分けられることになるのか。

事務局)

大前提として、保護者がどの園を希望されるかである。現実として、やむを得ず希望どおりにならない方も出てくるが、他の園を紹介させてもらう場合も納得の上のことであつて、半強制的にすることはありません。

保護者)

前回の説明会で、(久世保育園独自の) アンケート結果を市は見えていないとのことだったがその後見てくれたか。

事務局)

その後、取り寄せて内容を確認した。

時期的には議会広報で久世保育園の廃園という誤った情報が流れた直後でもあつたためか、久世保育園の存続への思いがたくさん述べられていた。

久世保育園で保育をとる思いを皆さんが持っているということを改めてこのアンケートから感じている。

保護者)

その内容を確認してもらったにもかかわらず、私立の園を設置しようとする理由が知りたい。また、R8年度以降に新しく公立の園をとあるが、なぜ、はじめからのこのことを考えてもらえなかったのか知りたい。

事務局)

老朽化等の喫緊の課題があつた中、昨年度の子ども子育て会議の答申を受け、民間参入を含めて検討していくこととなり、久世地域での認定こども園を設置運営できる事業者を公募したところ、1事業者から応募があり、審査を経て事業者を決定し、現在に至るが、仮に応募がなかった場合は、公立の園を設置するという事になっていたと思う。

保護者)

久世保育園が受け入れ停止となったとき、久世保育園の保育士はどうなるのか。新しい私立の園に行くのか。

事務局)

久世保育園の保育士は市の職員なので、他の園のどこかに配置されることになる。私立の園に配置されることはありません。

保護者)

新しい園に雇われることはないのか。

事務局)

そのことは個人の問題であり、判断であるが、真庭市職員だった保育士が自動的に私立の園に異動になることはありません。

保護者)

新しい私立園の保育士の確保状況はどうなっているのか。

事務局)

必要数の半分くらいは事業所のグループ内から補充する形を取る予定だと聞いている。残りについてはどういう求人方法でされるかは分からない。

保護者)

新しい私立園の保育士の確保ができない場合、公立の園から出向ということもありうるのか。

事務局)

新しい私立園を運営する事業者において、保育士は主体性を持って確保するというのが当然であるので、公立園からの出向ということはないし、民間に出向できるほどの人材に余裕はない状況です。

保護者)

説明会に参加するたびに今までにない情報が次々出てきて、ついていけない。今回の件についても分かりにくいので、簡潔に説明してもらいたい。

事務局)

この件については、もう何年も前から議論されていた。昨年度、このままではいけないということで、議論する中で、園整備に当たっては民間参入も含めて検討していくということで、公募し、現在の民間事業者が設置運営事業者として決定され、結果としてその事業者が希望したところが北町公園内ということになった。民間園ができることで全ての課題が解決したわけではなく、古い園が残った状態であり、これを何とかしなければならぬため検討した結果が今回の案ということになる。

保護者)

スケジュールで R6 年度久世保育園受入れ停止、第二と集約とあるが、第二の定員数が増えることになるのか。また、R8 年度久世第二保育園受入れ停止、久世保育園と集約とあるが、久世保育園と久世第二保育園の園児が新設の公立園に行くということなのか。

事務局)

R6 年度集約はその時点での集約ということではない。最終的に機能の集約ということであるので、第二保育園の定員数は変わらない。R5 年度の入園の申込みの中から久世保育園の名前は消えることになり、代わりに私立の認定こども園を追加することになる。新設の公立園への入園も自動的ではなく、希望によって調整するのが基本となる。

保護者)

R6 年度に久世保育園が受入れ停止となった時に、私立に入りたくない子が久世第二保育園に流れ込んでくると思うが、その場合、以前から久世第二保育園に在籍している子は優先的に在園できるのか。

事務局)

毎年度入園申込みをしてもらい、申込み状況を捉まえて調整することになるので、必ずしも優先となるということではありません。

保護者)

R8 年度には久世第二保育園が受入れ停止となるが、久世保育園も同じ時期に受入れ停止で良いのではないかと。なぜ、R6 年度に私立の開園にあわせて受入れ停止するのが疑問。

事務局)

定員管理ということも考えなければならない。子供の数が少なくなるのに園の数や定員数を増やせば良いというものではない。調整する場合は、公立側で調整することはやむを得ないと考えている。

保護者)

それであったら無理矢理に私立の園を作る必要があったのかなと思う。
私立の園の定員はどれくらいになるのか。

事務局)

新しい私立園の定員は 122 名。

保護者)

新しい公立のこども園の定員はどれくらいになるのか。

事務局)

これについては、皆さんにお示しできる形にはできていない。
こういう方針で進めていきたいということで示したものである。

保護者)

R6 年度に久世保育園の受入れ停止とあるが、現実的には、みんな新しい私立園に行ってくださいということになると思うがどうか。

事務局)

みんな行ってくださいということ市が言っているということは決してない。ただ、今後、新しい私立園の説明会なども聞いていただいて、その中でそれぞれの方が判断されることとされている。選択肢の一つとして、定員調整をしていくことになる。

保護者)

新しい私立園の説明会はいつあるのか。

事務局)

現在、事業者からは、新年度になってできるだけ早くということを知っている。
次年度の入園申込みは 10 月頃になると思うが、それまでに新しい私立園のことが分かっていないと保護者の皆さんも選択のしようがないということは事業者も認識している。

保護者)

小規模保育事業所の新設も必要に応じて検討とあるが、人数的に見てもそちらになると思うが。

事務局)

まず、示しているのは新しい公立の認定こども園を整備したいということ。
以前に、小規模保育事業所も応募がなかった経緯もある。今後の状況において、必要とする場合の想定として記載している。

保護者)

受入れ停止は在園児も含めてということだが、園の環境に慣れるのに時間がかかる子供もいる。先生にとっても大変なこと。子どもたちのことをどう考えてこのスケジュールを作ったのか知りたい。

事務局)

子どもたちのことはそのとおりだが、どこかのタイミングでは考えていかなければいけない。これまで、統合などしてきており、子どもたちのことを考えた場合、このままでということにはならないのかなと思う。

保護者)

それを言われるのなら、R8年度の久世第二保育園の受入れ停止の時に久世保育園も停止して、一緒に新しい公立園に入れるように考えてくれないのか。子供や保護者に寄り添ったものとは言えない。

案として、新たな受入れは停止するが、在園の子で園にそのまま残りたい子供は通えるようにするなどはどうか。

事務局)

この場での即答はできないが、考えの一つとして受け止めたい。

保護者)

この場に来ていない保護者には、今回のことはいつ言うのか。

事務局)

年度内にはこの方針を固めたいと考えていた。

前回の説明会については議事録等をQRコードから見られるようにしている。

一堂に会してのお知らせというわけにはいかないのですが、何かしらの方法で通知できるように。

保護者)

今回のことは、事前に分かっていた、想定できたことであると思っている。

なぜ、もっと早く説明できなかったのか。

今回の件で、これだけ非難を浴びているのに本当に強行されるつもりなのか。

事務局)

真摯に受け止める。

今回の件は、内部でも共有して今後どうしていくのかを検討していきたい。

保護者)

すぐの返答は難しいと思っているが、いつ頃なら可能か。

事務局)

どういった形で、どう返答するのか、時期も含めてこの場では答えることができないが、進め方について内部で検討したい。

保護者)

今回の件で再検討してもらい、計画が変わることはあるか。

事務局)

今、受け取った印象としては、このままではいけないと考えている。保護者の皆様に少しでも納得してもらえるようにしていかなければいけないとは考えている。今日の状況は、内部でしっかり共有したいと考えている。

保護者)

新しい公立園はどこに建設する予定か。

どのタイミングで、ここに建てますという知らせをしてくれるのか。

仕事に復帰するために、訳の分からない民間の園に半ば強制的に預けなければいけない。公立の選びしろがない。保育料や保育用品などどうなるのかなど。とりあえず不安でしかない。

事務局)

場所は決まっていない。

保育料は、認定こども園のため公立園と同じ制度で預かる。保育用品はおそらく私立のこども園用のものを用意いただくことになると思う。

保護者)

新しい私立園では0～2歳児の受入れはあるのか。

新しい公立園についてはどうか。

事務局)

どちらも0～2歳児の受入れを予定している。

保護者)

新しい私立園の批判をかわすため、新しい公立園のことを提案してきたように思える。
新しい公立園の具体的なことは分からないか。

事務局)

方向性、定員なども全て決めつけでなく、これから丁寧にしていきたいと思っているので、現時点では詳細は想定できておらず、具体的な検討はこれからになる。やっと、方向性を示すことができるところまで来た状況である。

保護者)

今回の保護者たちの不満や不信感の熱量を感じ取って持ち帰ってもらいたい。

事務局)

真摯に受け止めたい。

5 閉 会